

2025年11月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)	
株 高 島 屋 計	※1 +0.2	株 高 島 屋 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 計	+0.2

〔店舗・事業部別 概況〕

〔店舗・事業部別 概況〕			(前年比 単位:%)		
	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	+3.8	+8.2	E C 店	+15.4	-
堺 店	△1.1	△2.0	㈱ 高 島 屋 各 店 計	+1.7	+2.3
京 都 店	※2 +5.4	+2.0	岡 山 高 島 屋	△2.5	△0.3
泉 北 店	+0.2	+0.9	高 崎 高 島 屋	+0.7	△2.9
日 本 橋 店	+1.4	+2.8	㈱ 高 島 屋 各 店 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 計	+1.6	+2.2
横 浜 店	△3.8	△5.0	法 人 事 業	△26.3	
新 宿 店	△0.9	△0.6	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	+0.2	
玉 川 店	+5.3	+10.8			
大 宮 店	+4.5	+2.3			
柏 店	※3 +0.6	+2.4			

※1. 株高島屋の売上高は、株高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。
※2. 京都店は「洛西店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。
※3. 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

〔商品別売上高〕

【商品別売上高】

(前年比 単位:%)

	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品	+1.7	+1.7	食料品	+0.7	+0.6	サービス	+9.5	+9.3
紳士服・洋品	+1.7	+2.1	生鮮食品	△1.9	△1.7	その他	+276.3	+266.9
婦人服・洋品	+3.3	+3.2	菓 子	+3.1	+3.0			
子供服・洋品	△2.1	△2.0	惣 菜	+1.3	+1.3			
その他衣料品	△14.4	△14.4	そ の 他	△1.2	△1.4	合 計	+0.2	+0.2
身のまわり品	+7.2	+6.9	食堂・喫茶	+4.7	+4.8			
家庭用品	△13.3	△12.5	雑貨	+6.9	+6.4			
家 具	△3.1	△1.7	化 粧 品	+3.4	+3.0			
家 電	△29.0	△28.0	美術・宝飾品・貴金属	+13.0	+12.5			
その他家庭用品	△13.0	△12.6	そ の 他	△1.5	△1.3			

○百貨店売上高の前年比におきましては、店頭売上高+1.6%、免税売上高△3.1%、免税を除いた店頭売上高+2.3%となりました。

○国内顧客は、気温の低下にともないコート等の冬物衣料に動きがみられたことで前年実績を上回りました。

インバウンド顧客について、化粧品、婦人服等は前年からプラスとなりましたが、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品がマイナスとなった影響が大きく、前年実績を下回りました。

○法人事業は、前年における大口受注の反動により前年実績を下回りました。

クロスメディア事業は、通販カタログの受注が堅調に推移し、前年実績を上回りました。

○12月の店頭売上高(14日までの累計)は、前年比+6.9%、免税売上高は、前年比△9.8%、免税を除いた店頭売上高は、前年比+8.8%で推移しています。

※上記の数値は、第3四半期決算に伴う売上高修正を反映しております。(11月度はマイナス、12月度足元は同額プラスの売上高修正)

売上高修正を除く実質の前年比は以下のとおりです。

11月度:店頭売上高+3.5% 免税を除いた店頭売上高+4.4%

12月度: " +3.4% " +5.0%(14日までの累計)